



# 法人企業景気予測調査

平成30年1～3月期調査

— 北部九州地方の概要 —

平成30年3月12日

財務省福岡財務支局

[お問い合わせ先]  
財務省福岡財務支局 経済調査課  
電話 092-411-9038  
ホームページ  
<http://fukuoka.mof.go.jp/>

## 調査要領等

### 1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。

### 2. 調査対象の範囲

当局管内(福岡県、佐賀県、長崎県)に所在する資本金、出資金又は基金(以下、資本金という。)1千万円以上の法人。ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上を対象とする。

### 3. 調査時点

平成30年2月15日

### 4. 調査対象期間

《判断調査》

平成30年1～3月期(又は3月末)現状判断

平成30年4～6月期(又は6月末)見通しⅠ

平成30年7～9月期(又は9月末)見通しⅡ

《計数調査》

平成29年度上期は実績、下期及び通期は実績見込み

平成30年度通期は見通し(又は計画)

### 5. 対象企業の選定方法及び調査票の回収状況

法人企業統計(基幹統計)四半期別調査の対象法人等から一定の方法により抽出。

なお、毎年4～6月期調査開始前に標本の抽出替えを行っている。調査方法は、郵送又はオンラインによる自計記入を求める方法による。

### <調査対象企業数及び回収状況>

	製造業			非製造業			合計		
	対象企業数	回収企業数	回収率	対象企業数	回収企業数	回収率	対象企業数	回収企業数	回収率
大企業	41	40	97.6%	113	111	98.2%	154	151	98.1%
中堅企業	61	56	91.8%	140	126	90.0%	201	182	90.5%
中小企業	76	67	88.2%	277	241	87.0%	353	308	87.3%
合計	178	163	91.6%	530	478	90.2%	708	641	90.5%

※大企業:資本金10億円以上  
中堅企業:資本金1億円以上10億円未満  
中小企業:資本金1千万円以上1億円未満

### 6. 調査項目の分析方法

① 分析方法は、原則としてBSI(単位:%ポイント)による。BSIとは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称で、前期と比較した「上昇」又は「下降」等の変化方向別の回答数の構成比から、先行きの経済動向を予測する方法である。(BSI=「上昇」等と回答した社数の構成比－「下降」等と回答した社数の構成比)

(例)「景況判断」の場合

前期と比べて、「上昇」と回答した企業の構成比:30.0%、

「不変」と回答した企業の構成比:40.0%、

「下降」と回答した企業の構成比:20.0%、

「不明」と回答した企業の構成比:10.0%の場合、

**BSI=30.0－20.0=10.0%ポイント**

⇒ **10.0%ポイントの「上昇」超**

② 回答企業数は、調査項目によっては該当しないものもあり一致しない。

# 調査結果の概要

## — 企業の景況判断は「均衡」 —

### 【企業の景況判断】

現状(30年1～3月期) : 0.0 (前期 5.4) …「均衡」

製造業 : 3.7 (前期 15.8)

非製造業 : ▲1.3 (前期 1.9)

先行き(30年4～6月期) : 1.1 …「上昇」超に転じる見通し

先行き(30年7～9月期) : 1.9 …引き続き「上昇」超の見通し

### 【売上高】

29年度 通期見込み

全産業で 2.8%の増収

製造業で 1.0%の増収

非製造業で 4.0%の増収

30年度 通期見通し

全産業で 2.4%の増収

### 【経常利益】

29年度 通期見込み

全産業で 7.1%の増益

製造業で 8.5%の増益

非製造業で 6.5%の増益

30年度 通期見通し

全産業で 2.1%の減益

### 【設備投資】

29年度 通期見込み

全産業で 16.2%の増加

製造業で 26.4%の増加

非製造業で 11.6%の増加

30年度 通期見通し

全産業で 9.4%の増加

### 【従業員数判断】

現状(30年 3月末) : 33.5 (前期 30.8) …引き続き「不足気味」超

先行き(30年 6月末) : 23.5 …引き続き「不足気味」超の見通し

先行き(30年 9月末) : 19.1 …引き続き「不足気味」超の見通し

※調査時点:平成30年2月15日

回収率:90.5%(対象企業数:708社、回答企業数:641社)

# 1. 企業の景況判断.....現状判断は「均衡」

## [現状判断]

30年1~3月期は、全産業では「均衡」となっている。

業種別にみると、製造業は引き続き「上昇」超となっており、非製造業は「下降」超に転じている。

規模別にみると、大企業、中堅企業は引き続き「上昇」超となっており、中小企業は「下降」超に転じている。

## [先行き見通し]

先行きを全産業で見ると、30年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### 企業の景況判断BSI

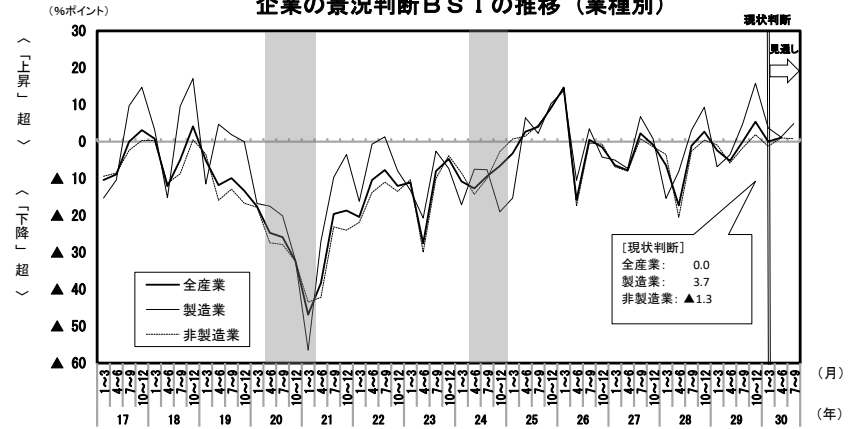
(前四半期と比較して「上昇」-「下降」の社数構成比)

(BSI: %ポイント)

区分	29年10~12月 (前回調査)	30年1~3月 (現状判断)		30年4~6月 (見通しI)		30年7~9月 (見通しII)
全産業	5.4	(▲0.2)	0.0	(▲2.3)	1.1	1.9
製造業	15.8	( 4.2)	3.7	(▲5.5)	1.2	4.9
非製造業	1.9	(▲1.7)	▲1.3	(▲1.3)	1.0	0.8
大企業	7.9	(▲1.3)	2.0	(▲0.7)	2.6	2.6
製造業	20.0	( 2.5)	5.0	(▲2.5)	0.0	7.5
非製造業	3.6	(▲2.7)	0.9	( 0.0)	3.6	0.9
中堅企業	11.3	( 3.2)	2.2	(▲3.2)	1.6	8.8
製造業	21.4	( 7.1)	7.1	(▲10.7)	▲1.8	10.7
非製造業	6.9	( 1.5)	0.0	( 0.0)	3.2	7.9
中小企業	0.7	(▲1.6)	▲2.3	(▲2.6)	0.0	▲2.6
製造業	8.7	( 2.9)	0.0	(▲2.9)	4.5	▲1.5
非製造業	▲1.7	(▲2.9)	▲2.9	(▲2.5)	▲1.2	▲2.9

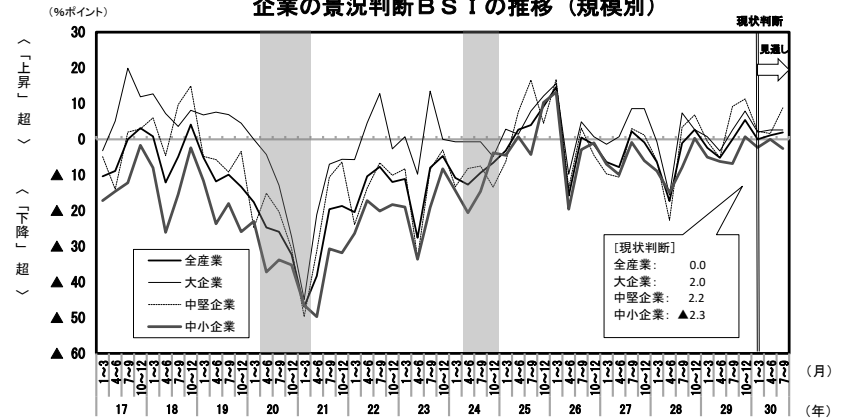
(注) ( )は前回調査時の見通し。

### 企業の景況判断BSIの推移(業種別)



(注) BSI = 「上昇」 - 「下降」社数構成比

### 企業の景況判断BSIの推移(規模別)



(注) BSI = 「上昇」 - 「下降」社数構成比

## 2. 売上高.....29年度は増収見込み

29年度は、製造業は前年比1.0%の増収見込み、非製造業は同4.0%の増収見込みとなっており、全産業では同2.8%の増収見込みとなっている。

業種別にみると、製造業は自動車・同附属品等で減収見込みとなっているものの、非鉄金属、はん用機械器具等で増収見込みとなっている。非製造業は情報通信で減収見込みとなっているものの、小売、建設等で増収見込みとなっている。

30年度は、製造業は前年比0.6%の増収見通し、非製造業は同3.0%の増収見通しとなっており、全産業では同2.4%の増収見通しとなっている。

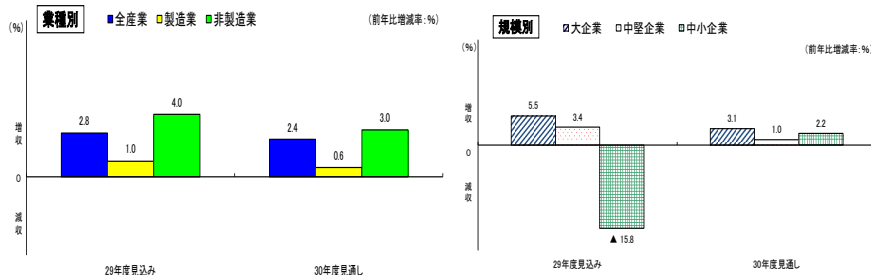
(前年同期比増減率：%)

区分	29年度				30年度		
	上期	下期	通期	通期	通期	通期	
全産業	(4.8)	4.8	(▲0.9)	1.0	(1.8)	2.8	2.4
製造業	(4.7)	5.2	(▲7.9)	▲2.8	(▲1.9)	1.0	0.6
非製造業	(4.9)	4.6	(3.6)	3.5	(4.2)	4.0	3.0
大企業	(3.7)	3.6	(3.7)	7.3	(3.7)	5.5	3.1
製造業	(0.2)	0.1	(1.9)	10.8	(1.0)	5.6	▲2.2
非製造業	(5.7)	5.9	(4.7)	5.0	(5.2)	5.4	4.8
中堅企業	(4.0)	4.0	(3.0)	2.9	(3.5)	3.4	1.0
製造業	(5.1)	8.9	(4.8)	7.9	(5.0)	8.4	2.9
非製造業	(3.2)	1.9	(1.9)	0.8	(2.5)	1.3	0.1
中小企業	(15.7)	15.0	(▲40.4)	▲40.6	(▲15.4)	▲15.8	2.2
製造業	(25.8)	25.6	(▲62.9)	▲63.3	(▲25.0)	▲25.2	6.8
非製造業	(1.4)	0.2	(▲1.6)	▲2.2	(▲0.2)	▲1.1	0.3

(注) 1. 電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く。

2. ( ) は前回調査結果。

売上高(除く電気・ガス・水道業、金融業、保険業)



## 3. 経常利益.....29年度は増益見込み

29年度は、製造業は前年比8.5%の増益見込み、非製造業は同6.5%の増益見込みとなっており、全産業では同7.1%の増益見込みとなっている。

業種別にみると、製造業は自動車・同附属品等で減益見込みとなっているものの、窯業・土石製品、情報通信機械器具等で増益見込みとなっている。非製造業は情報通信等で減益見込みとなっているものの、小売運輸、郵便等で増益見込みとなっている。

30年度は、製造業は前年比11.3%の減益見通し、非製造業は同1.4%の増益見通しとなっており、全産業では同2.1%の減益見通しとなっている。

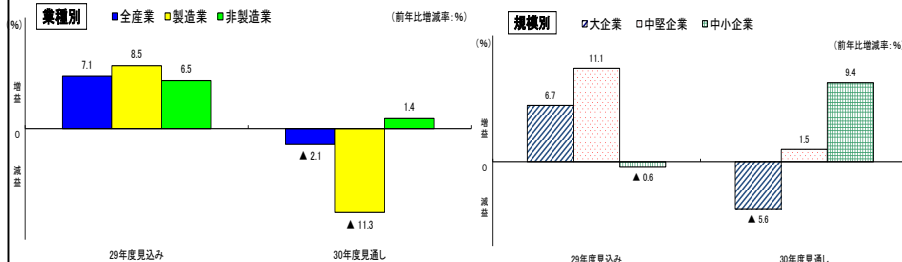
(前年同期比増減率：%)

区分	29年度				30年度		
	上期	下期	通期	通期	通期	通期	
全産業	(23.6)	22.3	(▲9.7)	▲5.3	(5.3)	7.1	▲2.1
製造業	(44.2)	44.5	(▲22.1)	▲18.7	(6.4)	8.5	▲11.3
非製造業	(14.3)	12.8	(▲3.4)	1.1	(4.7)	6.5	1.4
大企業	(20.9)	21.5	(▲10.2)	▲6.5	(4.4)	6.7	▲5.6
製造業	(40.5)	40.9	(▲32.0)	▲25.7	(▲0.1)	3.6	▲30.8
非製造業	(14.3)	14.5	(▲1.5)	1.7	(6.1)	7.9	1.3
中堅企業	(36.2)	31.5	(▲8.3)	▲1.6	(9.3)	11.1	1.5
製造業	(57.3)	65.6	(▲2.9)	3.1	(22.9)	29.1	3.0
非製造業	(12.0)	5.3	(▲12.9)	▲4.5	(▲3.9)	▲1.0	0.5
中小企業	(19.9)	3.5	(▲8.2)	▲3.0	(1.6)	▲0.6	9.4
製造業	(11.6)	9.9	(▲20.5)	▲22.7	(▲9.2)	▲10.8	22.4
非製造業	(27.1)	▲1.7	(2.0)	13.3	(10.7)	7.7	4.6

(注) 1. 電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く。

2. ( ) は前回調査結果。

経常利益(除く電気・ガス・水道業、金融業、保険業)



#### 4. 設備投資.....29年度は増加見込み

29年度は、製造業は前年比26.4%の増加見込み、非製造業は同11.6%の増加見込みとなっており、全産業では同16.2%の増加見込みとなっている。

業種別にみると、製造業は、その他製造業等で減少見込みとなっているものの、自動車・同附属品、鉄鋼業等で増加見込みとなっている。非製造業は金融、保険等で減少見込みとなっているものの、運輸、郵便、小売等で増加見込みとなっている。

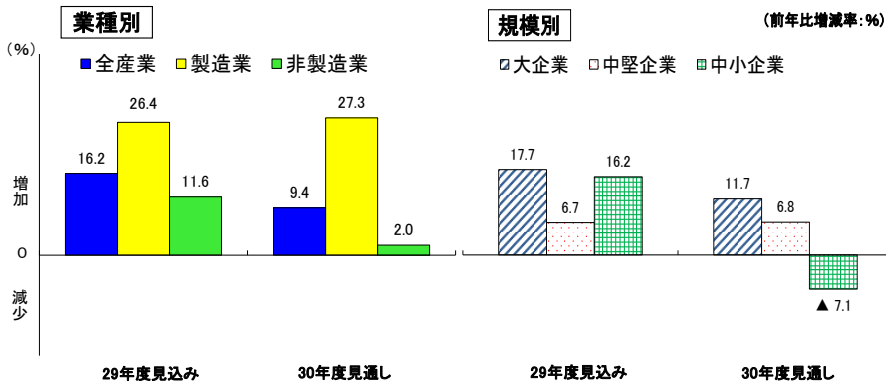
30年度は、製造業は前年比27.3%の増加見通し、非製造業は同2.0%の増加見通しとなっており、全産業では同9.4%の増加見通しとなっている。

(前年同期比増減率:%)

区分	29年度				30年度		
	上期	下期	通期	通期	通期	通期	
全産業	(18.1)	19.1	(25.3)	14.5	(22.6)	16.2	9.4
製造業	(22.8)	34.3	(41.1)	22.3	(34.6)	26.4	27.3
非製造業	(15.9)	13.0	(17.2)	10.8	(16.7)	11.6	2.0
大企業	(19.5)	16.7	(30.8)	18.2	(26.7)	17.7	11.7
製造業	(36.7)	37.1	(53.9)	28.4	(48.0)	31.4	26.7
非製造業	(14.0)	10.0	(22.0)	14.1	(19.0)	12.5	6.6
中堅企業	(4.3)	24.8	(1.6)	▲ 3.0	(2.6)	6.7	6.8
製造業	(▲ 0.4)	26.2	(13.4)	4.5	(8.2)	11.9	22.6
非製造業	(12.5)	23.0	(▲ 24.1)	▲ 13.2	(▲ 8.7)	▲ 0.2	▲ 7.0
中小企業	(52.3)	57.4	(16.1)	▲ 14.6	(31.8)	16.2	▲ 7.1
製造業	(32.6)	30.3	(12.9)	6.5	(78.0)	17.1	66.5
非製造業	(56.9)	65.6	(▲ 6.6)	▲ 20.6	(21.0)	15.9	▲ 26.3

(注) 1. ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く。  
2. ( ) は前回調査結果。

設備投資(ソフトウェア投資額含む、土地購入額除く)



#### 5. 従業員数判断.....現状判断は「不足気味」超

[現状判断]

30年3月末時点は、全産業で引き続き「不足気味」超となっている。業種別にみると、製造業、非製造業とも「不足気味」超となっている。規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも「不足気味」超となっている。

[先行き見通し]

先行きを全産業でみると、引き続き「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

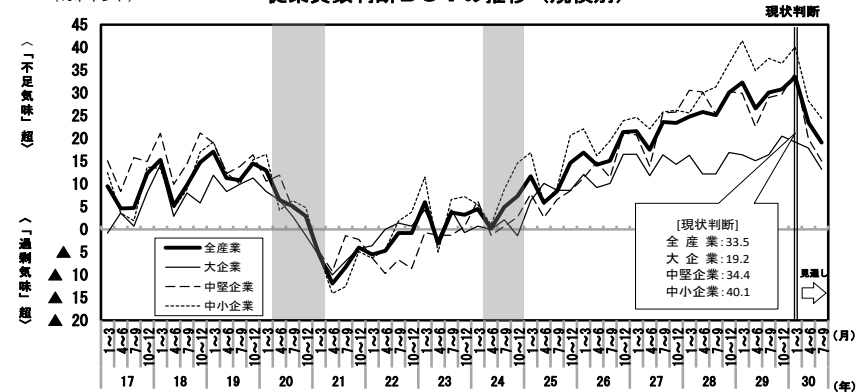
(期末判断 「不足気味」 - 「過剰気味」社数構成比)

(BSI : %ポイント)

区分	29年12月末 (前回調査)	30年3月末 (現状判断)	30年6月末 (見通し I)	30年9月末 (見通し II)
全産業	30.8	( 27.3) 33.5	( 20.3) 23.5	19.1
製造業	31.5	( 25.5) 30.1	( 17.6) 21.5	12.9
非製造業	30.5	( 28.0) 34.7	( 21.3) 24.2	21.3
大企業	20.5	( 18.5) 19.2	( 14.6) 17.9	13.2
製造業	25.0	( 20.0) 22.5	( 17.5) 17.5	10.0
非製造業	18.9	( 18.0) 18.0	( 13.5) 18.0	14.4
中堅企業	29.7	( 25.4) 34.4	( 16.2) 20.0	15.0
製造業	28.6	( 21.4) 32.1	( 10.7) 23.2	8.9
非製造業	30.2	( 27.1) 35.5	( 18.6) 18.5	17.7
中小企業	36.5	( 32.9) 40.1	( 25.7) 28.3	24.4
製造業	37.7	( 31.9) 32.8	( 23.2) 22.4	17.9
非製造業	36.2	( 33.2) 42.1	( 26.4) 30.0	26.3

(注) ( ) は前回調査時の見通し。

(%ポイント) 従業員数判断BSIの推移(規模別)



(注) BSI = 「不足気味」 - 「過剰気味」社数構成比